

## とや英津子のニュースレター

TOYA ETSUKO Newsletter

●暮らしの相談は



事務所：練馬区桜台1-6-11 TEL: 03-6324-8060

HP

とや英津子 検索ください

## シルバーパス 1万2千円に値下げへ

70歳以上が都営交通（バス、地下鉄、都電など）と都内の民間バスで利用できるシルバーパス。

東京都は1月31日の都予算案発表で、2万510円のパス（※年所得135万円を超える人）を1万2000円に10月から引き下げる方針を明らかにしました。



## 共産党都議団 繰り返し提案

|          |   |
|----------|---|
| 2017年3月  | 3000円パスを創設し、多摩モノレールやゆりかもめへの適用拡大や、都県をまたぐ路線でも利用できるようにする条例改正案を生活者ネットと共同提出。継続審議に              |
| 2017年6月  | 継続審議の条例案を自民、公明、都ファ、維新などが反対・否決   |
| 2018年3月  | 所得に応じて新たに3000円パス創設の条例案をネットと共同提出。自民、公明、都ファ、維新などが反対・否決                                      |
| 2020年12月 | 3000円パスの創設などの条例改正案を提出。自民、公明、都ファ、などが反対・否決  |
| 2023年9月  | 3000円パスの創設などの条例改正案を提出。自民、公明、都ファ、維新などが反対・否決  |
| 2024年7月  | 都知事選で小池都知事が「シルバーパスの改善」「多摩モノレールをシルバーパスの対象に」と公約   |
| 2024年12月 | 一律1000円、利用交通機関の拡大と都県をまたぐ路線でも利用できる条例改正提出。共産、立民、ミライ、ネット、グリーンの5会派39人が賛成。自民、公明、都ファ、維新などが反対・否決 |
| 2025年1月  | 予算編成への提案で、無料化あるいは一律1000円などの負担軽減、東急世田谷線、コミュニティバスへの適用拡大など提案                                 |
| 2025年1月  | 予算査定で20,510円を12,000円に値下げする方針が明らかになる   |

## 値下げさらに求める

## 共産党都議団

シルバーパスは2000年までは70歳以上の多くが無料でした。ところが石原知事（当時）が「何が贅沢といえども福祉」と、**全面有料化**が打ち出されました。

都議会では、**共産党**が反対しましたが、**自民、公明党**などの賛成多数で**有料化が強行**されてしまいました。

## くり返し値下げ提案してきた共産党

## 反対してきた自、公、都ファ、維新

共産党都議団は「2万円の負担は重すぎる。大幅値下げと適用交通機関の拡大を」と財源も示しながら、くり返し改善を提案。他会派との共同も追求してきました。（表参照）

一方、自民党や公明党、都民ファーストの会、維新などは、共産党の値下げ提案にも、都民が都議会に出した請願・陳情にも反対し、値下げを妨害してきました。

日本共産党は、今回の負担軽減を歓迎するとともに、さらなる値下げと多摩都市モノレールや全てのコミュニティバスなどへの適用拡大に向け、引き続きがんばります。

さらに前進  
させましょう

# 2025年度 都予算編成で要求しました

## 共産党都議団が小池都知事に提出

物価高騰に苦しむ都民の暮らしを守り抜き、地域経済を立て直すことが都政の最重点課題です。

東京都の税収は、24年度当初予算に比べ5,400億円以上増えてバブル期を超え史上最高水準です。

総額17兆8千億円を超える巨大な財政力は、大型開発優先の財界ファーストではなく、都民の暮らしと営業を守り、地域経済を立て直すことにこそ使うべきです。

日本共産党都議団は、以下の「4つの視点」

- 1 物価高騰から都民の暮らしを守り抜き、地域経済を立て直す
- 2 財界ファーストの「まち壊し」から、住民参加の持続可能な「まちづくり」へ
- 3 いのちと健康を守り抜く都政へ
- 4 人権と平和を大事にする都政へ



から2024年12月23日に、2025年度東京都予算編成に対する提案要求として2467項目をまとめ提出し、都として最大限の具体化を図るよう要望しました。

## さっそく都予算案で実現しました

### ●保育料の第一子無償化

25年9月から。認可保育園、認証保育所、私立幼稚園などで実施へ

### ●民間医療機関への支援

地域医療の危機に対応するため321億円の支援をおこなう予算が計上されました

### ●後期高齢者の歯科検診事業への支援(新規)

自己負担なしで事業を実施する自治体を支援。1億円

### ●出産後の経済支援 5万円増額

赤ちゃんファーストギフトの都負担を5万円→10万円にアップ

### ●児童相談所の職員増員

### ●痴漢対策、調査予算が計上

### ●公衆浴場の後継者対策(新規)

承継を促進するためコンサルのマッチング支援の実施と、補助の実施

## 防災対策で新たな前進

防災対策では、面的液状化対策とともに、避難所の簡易ベッドや屋内型仕切り・テント、温水シャワー、トイレカーの配備やペット同行避難対策など新規の予算が計上されました。  
※区市町村に対する支援(補助率 1/2 10億円)  
この間、能登半島地震の支援にも行き、都議会で強く求めてきたことが実現しました。

共産党都議団は野党第1党の力を生かして、いま行われている都予算議会で都民福祉の増進を最優先する、新しい都政をつくるため全力を尽くします。

都議会自民党による裏金問題の、真相の徹底究明に全力で取り組みます